

伊陸天神祭奉賛会 のご紹介



ぼく、寄進牛のキシ
くんです。
よろしくね。
これからお先乗り馬
のおさきちゃんといっ
しょに伊陸天神祭、ご紹
介します。



私は、お先乗
り馬のおさき
ちゃんよ。
よろしくね。



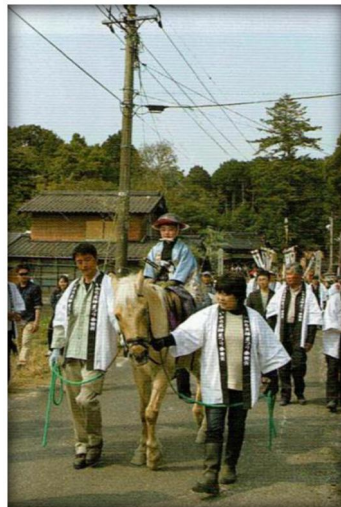
今から約 180 年前（1840 年代）に始った伝統行事の伊陸天神祭なんだけど、山口県でも珍しい牛を主役にしたお祭なんだ。上の写真は昭和 40 年（1965 年）代ごろのお祭りの様子だよ。当時は牛を飼っていたたくさんの農家が寄進牛としてお祭に牛を奉納していたし、お祭の後には牛の競り市も開かれていたそうだよ。
伊陸の人たち、このお祭で大変盛り上がっていたんだって。



お祭の神事は伊陸
の氷室亀山神社で
行われます。斎主様
の御祓いや御神体
を御網代（おあじ
ろ）に移す神事を
行います。



右の写真は御神幸（ご
じんこう）行列とい
うのよ。神社から約 400
m 先の御旅所（おた
びしよ）までの参道
を、小学生の稚児が
乗ったお先乗り馬が
先導し、その後を約
80 人の氏子さん
たちが旗や指物、大
小筒などの奉物を
捧げて練り歩くの。
すごいでしょ！



御旅所でも神事
を行います。



御網代輿（おあ
じろこし）を引
く僕って、かっ
こいい！



2020 年から始った新型コロナウイルス感染症のパンデミックで、お祭りのメインだった御神幸が中止になり、寂しかったわ。でも今年（2024 年）の 4 月には奉賛会の人たちが頑張ったの。お祭りの行列を復活し、伊陸地区コミュニティの人たちにも協力をお願いして、物産展も開いたの。お祭りの締め餅まき、盛り上がったわね。
やっぱり、やってよかったと、思うわ。



御神幸行列には子どもたちも神輿（みこし）を担いでお祭を元気にしてくれます。高齢化や少子化で問題もあるけど、春の柳井の名物として、いつまでも心に残る楽しいお祭にしたいです。

